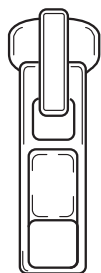


Illustrator で絵型を描く。

ファスナースライダーを描く。

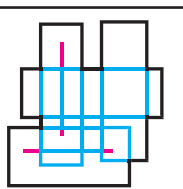


この様に実物に近い形状で描いても良いが
実際には絵型の中の
極小さな部分なので
凝ったファスナースライダーを
描いてもプリントアウト時に
殆ど形状が分からない。

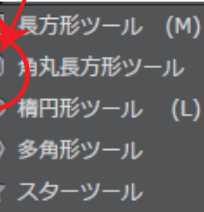


シェイプ形成ツールは重なりあう
線の大部分を消す事が出来るが
線が途中で終了している部分の
線は消すことが出来ない。

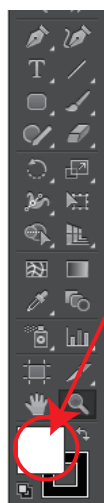
青線の部分は
消せるが線が
貫通していない
赤線や輪郭の線は
消せない。



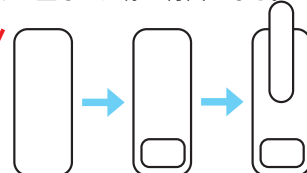
最も簡単な方法としては
角丸長方形ツールを
使って描く方法である。



角丸長方形ツールは
長方形を描きながら
マウスボタンを
押したままの状態
でキーボード矢印↑で
角がより丸くなり
↓で角ばった
形状になる。



ツールの塗を白にした状態で
最初に背面部分の四角を描き重なる部分を
描けば重なった線が背面になる。

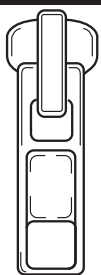


塗を無しで描いた場合は下の線が見えてしまう。



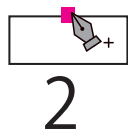
この場合でも下の線を
消すことは可能である
ツールのシェイプ形成を
使用する。●選択ツールで
ファスナー全体を選択し
次にシェイプ形成ツールで
マウスボタンを押したまま
矢印方向に移動（ドラッグ）
これで重なりの線を消す事が出来る。

現物に近い形状で描くには！



1 長方形ツールで
長方形を描く。

パスのセグメント上を
クリックし
アンカーポイントを
追加する。



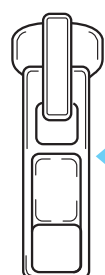
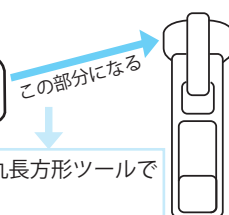
ダイレクト選択ツールで
アンカーポイントを移動し
アンカーポイントツールを
水平方向に引張る。



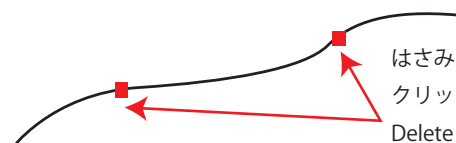
1~2 の操作を長方形下の
部分にも行う。

この部分になる
他は角丸長方形ツールで
描ける。

角丸長方形で奥にある
モチーフから四角形を
追加して行く。
この時塗は白にしておく。



ペンツールや角丸長方形ツールで
細線部分を追加した。
ハイライト部分（線の途切れた部分）は
はさみツールでカットした。



はさみツールはパスのセグメント上2箇所を
クリックした後その部分を選択ツールで選択し
Delete キーを押すことで削除出来る。

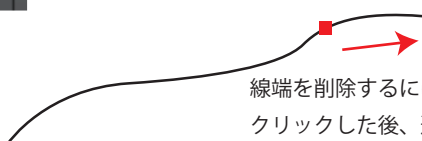


この部分を選択して Delete!



この間の削除は2箇所クリック！

線と線の間を削除するには
はさみツールで2箇所のクリックが必要だが
線端をカットするには一箇所のみのクリックで良い！



線端を削除するには一箇所のクリックだけで良い。
クリックした後、選択ツールで選択し Delete キーを押せば
その部分の線を消す事ができる。

はさみツールは消しゴムツール内に
収納されている。

消しゴム、ハサミ、ナイフと
消去系のツールが同じ場所に
格納されていると
考えると収納場所を覚えやすい。

消しゴムツール (Shift+E)
はさみツール (6)
ナイフ